



[カスタマイズ (Customization)]

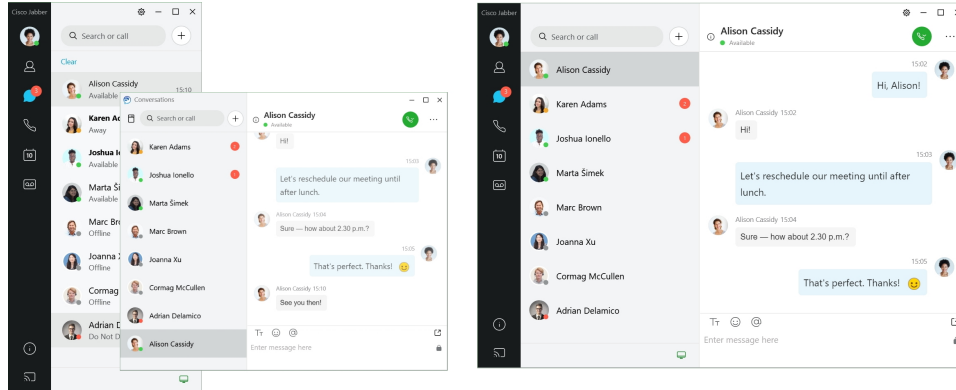
- [カスタマイズ (Customization)] (1 ページ)
- アプリの表示を変更する (2 ページ)
- Windows でカスタムのチャット警告音を追加する (2 ページ)
- 通知を許可 (3 ページ)
- Windows で特定の連絡先とドメインを許可する (3 ページ)
- Windows で特定の連絡先とドメインをブロックする (4 ページ)
- Android で代替 Dial via Office コールバック番号を変更する (5 ページ)
- Google カレンダー イベント (5 ページ)
- 音声会議端末 (6 ページ)
- Jabber の音声オプション (7 ページ)
- セルラー ネットワークの発信オプション (8 ページ)
- 着信音 (9 ページ)
- Android で着信音を設定する (11 ページ)
- Windows であなたと対話できるユーザを管理する (12 ページ)
- カラー テーマ (13 ページ)
- Mac 版 Jabber のロケーション (14 ページ)
- Windows で状況要求を管理する (16 ページ)
- Mac でカスタムタブを削除する (17 ページ)
- コール オプション (17 ページ)
- 低帯域幅モード (19 ページ)
- 電話会議ブリッジ (20 ページ)
- ビデオの基本設定 (21 ページ)

[カスタマイズ (Customization)]

Jabber アプリはさまざまな方法でカスタマイズできます。ただし、一部のカスタマイズはアプリとデバイスに適用されない場合があります。

アプリの表示を変更する

Jabber の最新のデザインでは、連絡先、通話、チャット、およびミーティングが1つのウィンドウにまとめられています。以前のレイアウトを使用する場合は、設定でクラシックデザインオプションを選択できます。



ステップ 1 プロファイル画像をクリックして、**設定**または**基本設定**を選択します。

ステップ 2 **外観 > アプリビュー** に移動し、**クラシック** または **モダン** を選択します。

変更を適用するためにプログラムが再起動されます。

Windows でカスタムのチャット警告音を追加する

カスタムサウンドファイルを使用して、自分のチャット警告音をカスタマイズすることができます。カスタムサウンドファイル (WAV 形式) を Jabber チャットアラートフォルダにコピーすると、すべてのチャットアラートに対してすぐにその音が適用されます。

サポートされている形式は以下のとおりです。

- WAV_FORMAT_PCM_8KHZ
- WAV_FORMAT_PCM_16KHZ
- WAV_FORMAT_PCM_24KHZ
- WAV_FORMAT_PCM_24KHZ_STEREO
- WAV_FORMAT_PCM_44KHZ
- WAV_FORMAT_PCM_48KHZ
- WAV_FORMAT_PCM_48KHZ_STEREO
- WAV_FORMAT_MU_LAW_8KHZ

- WAV_FORMAT_A_LAW_8KHZ
- WAV_FORMAT_G729

ステップ 1 システムの Jabber チャットアラートフォルダに移動します。

通常のインストールパスは C:\Program Files (x86)\Cisco Systems\Cisco Jabber\Sounds\Jabber チャット アラートです。

ステップ 2 Jabber Chat Alerts フォルダにカスタムチャットアラート音のファイルをコピーします。

[オプション] ウィンドウの [サウンドとアラート] タブに新しいチャットアラートオプションが表示されるようになりました。

通知を許可

Cisco Jabber では、新しいメッセージ、着信コールがあること、および可用性が [応答不可 (not on)] に設定されている場合の動作について、通知する方法をカスタマイズします。

ステップ 1 端末で [設定 > 通知 > Jabber] に移動します。

ステップ 2 [通知の許可 (Allow Notifications)] を有効にします。

ステップ 3 希望のアラートスタイルを選択します。

Windows で特定の連絡先とドメインを許可する

Cisco Jabber では、ブロック リストに例外を設ける許可リストを作成できます。特定の連絡先またはドメインを許可リストに入力することで、それらの連絡先がユーザの在籍ステータスを表示したり、ユーザにメッセージを送信できるようになります。



(注) Cisco Jabber では、連絡先リストが許可リストとして使用されます。連絡先リストに含まれている連絡先を許可リストに追加する必要はありません。

例 1 : 組織内の特定の連絡先を許可

1. 基本的なプライバシー設定を行い、社内の全員をブロックします。
2. 社内の連絡先の特定の IM アドレスを許可リストに追加します。

Cisco Jabber では、許可リストに含まれている人を除き、社内のすべての連絡先がブロックされます。

例 2：特定のドメインを許可

1. 基本的なプライバシー設定を行い、社外のすべての人をブロックします。
2. その後、cisco.com などの特定のドメインを許可リストに追加します。

Cisco Jabber では、cisco.com に IM アカウントを持っている人を除き、社外のすべての人がブロックされます。

例 3：ブロックされたドメインに属する特定の連絡先を許可

1. cisco.com などの特定のドメインをブロック リストに追加します。
2. 次に、anitaperez@cisco.com などの IM アドレスを許可リストに追加します。

Cisco Jabber では、anitaperez@cisco.com を除き、cisco.com に IM アカウントを持つすべての人がブロックされます。

ステップ 1 ハブ ウィンドウでこれらのオプションのいずれかを選択します。

- Jabber の新しいバージョン: [設定] > [オプション] の順に選択します。
- 以前のバージョンの Jabber の場合: [ファイル] > オプションを選択します

ステップ 2 [プライバシー (Privacy)] タブを選択し、[詳細 (Advanced)] を選択します。

ステップ 3 特定の連絡先アドレスまたはドメインを [許可リスト (Allow list)] に入力します。

ステップ 4 [適用 (Apply)] を選択し、[OK] を選択します。

Windows で特定の連絡先とドメインをブロックする

任意のユーザからの連絡を Cisco Jabber で受け取りたくない場合は、対象のユーザ、あるいは同じドメインに含まれるすべてのユーザをブロックできます。たとえば、メールアドレスのドメインが .example であるすべてのユーザをブロックできます。ブロックされた相手は、その連絡先リストにこちらの連絡先が登録されている場合でも、在席ステータスを表示したり、インスタントメッセージを送信したりできなくなります。

ステップ 1 ハブ ウィンドウでこれらのオプションのいずれかを選択します。

- 新しいバージョンの Jabber : [設定 > オプション] の順に選択します。
- 以前のバージョンの Jabber の場合: [ファイル] > オプションを選択します

ステップ 2 [プライバシー (Privacy)] タブを選択し、[詳細 (Advanced)] を選択します。

ステップ 3 特定の連絡先アドレスまたはドメインを [ブロック リスト (Block list)] に入力します。

ステップ4 [適用 (Apply)]を選択し、[OK]を選択します。

Android で代替 Dial via Office コールバック番号を変更する

この手順は Android 版 Cisco Jabber に適用されます。

ステップ1 [設定 (Settings)]画面の [発信 (Call)]で [通話オプション (Calling Options)]をタップします。

ステップ2 代替 DvO コールバック番号をタップします。

ステップ3 新しい代替 DvO コールバック番号を入力します。

ステップ4 保存をタップします。

Google カレンダー イベント

Cisco Jabber で Google カレンダーのイベントにアクセスできます。そのためには Google の資格情報を使用してサインインします。イベントの時刻に近づくと、Cisco Jabber はポップアップを表示します。また、Cisco Jabber を使用してそのイベントに参加することもできます。

Windows で Google カレンダー イベントにアクセスする

ステップ1 設定 > オプション > カレンダーに移動します。

ステップ2 [カレンダーの連携]メニューで [Google カレンダー]を選択し、[OK]をクリックします。さん、そして Cisco Jabber を再起動してください。

ステップ3 [Google カレンダーのログイン]ウィンドウで、Google アカウントのユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン]を選択します。

ステップ4 [アクセスを許可 (Allow access)]を選択し、プロンプトが表示されたら [はい (Yes)]を選択して、ページ上でのスクリプトの実行を続けます。

ステップ5 Cisco Jabber のメイン ウィンドウで、ミーティングタブを選択します。

(注) Google カレンダーを Cisco Jabber に接続したくない場合は、[カレンダー]タブに移動して [なし]を選択し、Cisco Jabber を再起動してください。

- (注) [Google アカウント (Google Accounts)] ページに移動し、[Google アカウントへの許可されたアクセス (Authorized Access to your Google Account)] セクションで Cisco Jabber のアクセスを無効にすることもできます。

Mac で Google カレンダー イベントにアクセスする

- ステップ 1 [基本設定 > ミーティングの基本設定 > ミーティング] に移動します。
- ステップ 2 カレンダーインテグレーション ドロップダウンリストから **Google カレンダー** を選択し、[OK] をクリックします。設定を更新してから Cisco Jabber を再起動してください。
- ステップ 3 **Google カレンダーのログイン** ウィンドウで、Google アカウントのユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン] を選択します。
- ステップ 4 [アクセスを許可 (Allow access)] を選択します。
- ステップ 5 Cisco Jabber のメイン ウィンドウで、ミーティングタブを選択します。


(注) Google カレンダーを Cisco Jabber で接続したくない場合は、[カレンダー] タブに移動して [なし] を選択し、Cisco Jabber を再起動してください。

(注) [Google アカウント (Google Accounts)] ページに移動し、[Google アカウントへの許可されたアクセス (Authorized Access to your Google Account)] セクションで Cisco Jabber のアクセスを無効にすることもできます。

音声会議端末

Cisco Jabber でヘッドセット、スピーカーやマイクを使用するかどうかを指定できます。例えば、共有オフィスで働いていて、通常はヘッドセットを使用している場合、それをデフォルトのオプションとして設定できます。


Windows で音声デバイスを変更する

- ステップ 1 ヘッドセットまたは他のオーディオ デバイスを適切な USB ポートに差し込みます。
- ステップ 2 電話コントロールメニュー  をクリックして、**通話にコンピュータを使用**を選択します。現在使用しているオーディオ デバイスも表示されます。

ステップ3 音声デバイスを変更するには、[音声オプション] をクリックし、スピーカーまたはマイクを選択して、[OK] をクリックします。

Mac で音声デバイスを変更する

ステップ1 ヘッドセットまたは他のオーディオ デバイスを適切な USB ポートに差し込みます。

ステップ2 電話コントロールメニュー  をクリックし、**通話にコンピュータを使用**を選択します。
現在使用しているオーディオ デバイスも表示されます。

ステップ3 音声デバイスを変更するには、[音声/ビデオの基本設定] をクリックし、スピーカーまたはマイクを選択して、[OK] をクリックします。

Android で音声端末を変更する

Android 版 Cisco Jabber でデフォルトのオーディオ デバイスを選択します。Android 端末に接続されているデバイスに応じて、ヘッドセットやスピーカーを選択できます。

ステップ1 設定 > 音声とビデオに移動してください。


ステップ2 [デフォルトの音声出力] をタップします。

ステップ3 [イヤホン (Earphone)] または [スピーカー (Speaker)] をタップして、デフォルトのオーディオ出力を選択します。

Jabber の音声オプション

Cisco Jabber アプリの音声オプションを個人用に設定して、他のユーザとの協業をスムーズにできます。オフィスではヘッドセットを使用し、オフィス外で作業する場合には接続済みのスピーカーおよびマイクに切り替えることができます。外付けスピーカーを使用した方が聴き取りが容易になり、外付けマイクを使用した方が会話が伝わりやすくなります。

Windows で Jabber 音声オプションを選択する

ステップ1 Cisco Jabber から、歯車アイコン  をクリックし、[オプション] を選択して、**音声**を選択します。

ステップ2 着信音、スピーカー、マイクに使用するデバイスを選択します。

Mac で Jabber 音声オプションを選択する

ステップ1 Cisco Jabber のメインメニューから、[基本設定 (Preferences)]を選択し、[音声/ビデオ (Audio/Video)]の基本設定を選択します。

ステップ2 着信音、スピーカー、マイクに使用するデバイスとオプションを選択します。

iPhone および iPad で Jabber 音声オプションを選択する

ステップ1 通話中に [詳細] をタップし、[音声設定] を選択します。

ステップ2 デバイスを選択します。

Android で Jabber 音声オプションを選択する

Android では、アプリはデフォルトでデバイスのマイクとスピーカーを使用します。ヘッドセットをデバイスに接続すると、アプリはヘッドセットのマイクとイヤホンに切り替えます。

ヘッドセットを使用するには、ヘッドセットを接続します。

セルラー ネットワークの発信オプション

ほとんどの場合、電話をかけるには Wi-Fi 接続経由で Cisco Jabber を使用します。しかし、Wi-Fi接続が利用できない場合は、携帯電話ネットワークを使用して通話をどのように処理するかを選択できます。ただし、携帯電話ネットワークを使用するかどうかは、使用するデータプランによって異なります。

iPhone および iPad で通話オプションを選択する

モバイルネットワークで電話を受けたり、電話をかけたくない場合は、モバイルネットワーク経由の VoIP 通話を無効にすることができます。

携帯電話ネットワークで VoIP を無効にすると、次のように変更されます：

- Cisco Jabberでは電話サービスが無効になっています。

- Cisco JabberからVoIP電話をかけたり、着信を受けることはできません。
- 電池の消費が少なくなります。

ステップ1 設定画面で、**通話オプション**をタップします。

ステップ2 携帯電話ネットワーク経由の**通話機能**で、**通話機能を無効にする**をタップします。

Android で通話オプションを選択する

設定オプションで、携帯電話ネットワーク経由のCisco Jabberコールを無効または有効にできません。

携帯電話ネットワークで通話機能を無効にすると、次のようになります：

- 電話サービスは切断されています。
- 着信はありません。
- Cisco Jabber に電話をかけることはできません。
- Jabber のバッテリー消費量が減少しました。

ステップ1 [設定 > 発信]に移動します。

ステップ2 [発信オプション]を選択します。

ステップ3 次のオプションのいずれかを選択します。

- 音声のみ <default option>
- オーディオとビデオの使用
- 通話機能を無効にします

ステップ4 通話機能を無効にするを選択します。

着信音

Cisco Jabber のコール用に別の着信音を選択することができます。

カスタム着信音の追加

カスタムサウンドファイルを使用して、Jabber通話の着信音をパーソナライズ化します。カスタムサウンドファイル（WAV形式）を[Jabberチャットの着信音]フォルダにコピーすると、すべての着信に対してすぐにその着信音を適用できます。

すべてのサウンドファイルは .wav オーディオ形式である必要があります。サポートされている形式は以下のとおりです。

- WAV_FORMAT_PCM_8KHZ
- WAV_FORMAT_PCM_16KHZ
- WAV_FORMAT_PCM_24KHZ
- WAV_FORMAT_PCM_24KHZ_STEREO
- WAV_FORMAT_PCM_44KHZ
- WAV_FORMAT_PCM_48KHZ
- WAV_FORMAT_PCM_48KHZ_STEREO
- WAV_FORMAT_MU_LAW_8KHZ
- WAV_FORMAT_A_LAW_8KHZ
- WAV_FORMAT_G729

新しい着信音ファイルを追加すると、[] [オプション] > [サウンドとアラート] に新しい着信音が表示されます。

ステップ1 システムの着信音フォルダに移動します。

通常のインストールパスは次のとおりです。C:\Program Files (x86)\Cisco Jabber\Cisco Jabber\Sounds\Ringtones

ステップ2 着信音フォルダにカスタム着信音ファイルをコピーします。

Windows で着信音を設定する

ステップ1 設定 > オプション > 通知に移動します。

ステップ2 [呼出音] セクションで、呼出音を選択します。

ステップ3 [Apply]を選択します。

Mac で着信音を設定する

ステップ1 [基本設定 >] 通知に移動します。

ステップ2 [呼出音] セクションで、呼出音を選択します。

ステップ3 [Apply]を選択します。

iPhone および iPad で着信音を設定する

ステップ1 [設定 > 全般 > サウンド] に移動します。

ステップ2 呼び出し音をタップして着信音を選択します。

複数の電話番号の着信音

Cisco Jabber では、複数回線環境で設定されている 1 つまたはすべての電話番号に使用する着信音を自由に選択できます。たとえば、それぞれのオフィス回線に固有の着信音を設定して通話エクスペリエンスをパーソナライズできます。

Windows で複数の電話番号の着信音を設定する

ステップ1 設定 > オプション > 通知に移動します。

ステップ2 [呼出音] セクションで、呼出音を選択します。

(注) Cisco Jabber 12.8 以降で複数の回線を有効にしている場合、まず回線を選択してから、その回線用に再生する着信音を選択します。

ステップ3 [Apply] を選択します。

Mac で複数の電話番号の着信音を設定する

ステップ1 [基本設定 > 通知] に移動します。

ステップ2 [呼出音] セクションで、呼出音を選択します。

(注) Cisco Jabber 12.8 以降で複数の回線を有効にしている場合、まず回線を選択してから、その回線用に再生する着信音を選択します。

ステップ3 [Apply] を選択します。

Android で着信音を設定する

通話のトーンとチャットメッセージのトーンを設定できます。

ステップ1 発信音を設定するには、[設定 >][サウンド] > [発信音] に移動して、着信音を選択します。

ステップ2 チャット通知音を設定するには、[設定 > 音を鳴らす > 通知音] に移動し、通知音を選択します。

Windows であなたと対話できるユーザを管理する

Cisco Jabber の一部の導入では、社内および社外の誰と会話するかを制限することができます。

ステップ1 次のオプションのいずれかを選択します。

- Jabber の最新バージョンの場合: ハブウィンドウで [設定] メニューを開き、[オプション] に移動します。
- 以前のバージョンの Jabber では、[ファイル] > [オプション] の順に選択します。

ステップ2 プライバシー タブを選択します。

ステップ3 [社内 (Inside my company)] セクションで以下のいずれかのオプションを選択します。

| オプション | 説明 |
|--------------------------|---|
| 全員を許可 (Allow everyone) | 社内のすべての連絡先がユーザの在籍ステータスを参照しインスタントメッセージを送信できます。 |
| 全員をブロック (Block everyone) | 社内のどの連絡先もユーザの在籍ステータスを参照できず、インスタントメッセージを送信できません。 全員をブロックするよう選択し、許可リストに特定の連絡先に対する例外を追加することができます。 この方法では、連絡先リストに含まれている連絡先がブロックされません。 |

ステップ4 [社外 (Outside my company)] セクションで以下のいずれかのオプションを選択します。

| オプション | 説明 |
|-----------------------------|---|
| 常に確認 (Prompt me every time) | 社外の人がユーザを連絡先として追加したときに、Cisco Jabber により通知されます。クライアントから通知があるたびに、次のオプションを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 許可: 相手があなたのアベイラビリティ状況を表示し、あなたにインスタントメッセージを送信できるようにします。 • ブロック: 相手があなたのアベイラビリティ状況を表示したり、あなたにインスタントメッセージを送信したりしないようにします。その人をブロックリストに追加します。 • 連絡先リストに追加: ユーザがあなたのアベイラビリティ状況を表示したり、あなたにインスタントメッセージを送信することができます。その人を連絡先リストに追加します。 |

| オプション | 説明 |
|--------------------------|--|
| 全員をブロック (Block everyone) | <p>社外のどの連絡先もユーザの在籍ステータスを参照できず、インスタントメッセージを送信できません。</p> <p>全員をブロックするよう選択し、許可リストに特定の連絡先に対する例外を追加することができます。</p> <p>この方法では、連絡先リストに含まれている連絡先がブロックされません。</p> |

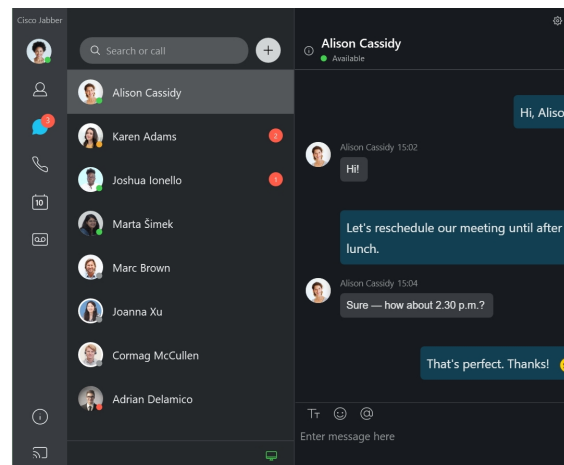
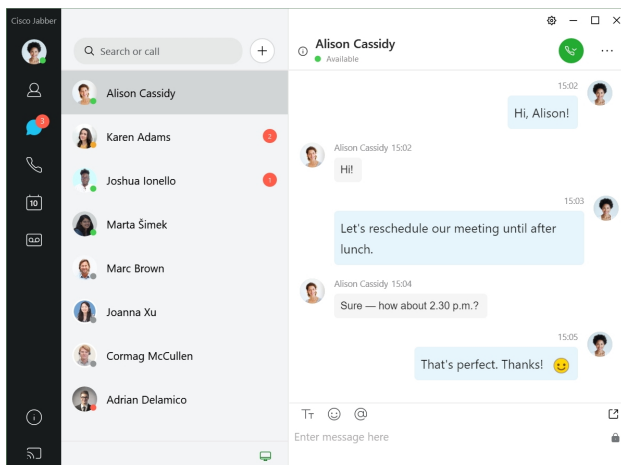
ステップ5 [適用 (Apply)]を選択し、[OK]を選択します。

カラー テーマ

別のテーマを選択するだけで、Jabberに濃い、薄い、または高コントラストの色設定を使用するように設定できます。これらのテーマを使用すると、アプリ内ですべての外観を変更できます。たとえば、[ダーク]テーマに切り替えると、メッセージ、チーム、コール、ミーティングなど、すべてのバックグラウンドが暗い背景になります。

Windows でカラー テーマを変更する

次の画像は明るいと暗いテーマの例を示しています。

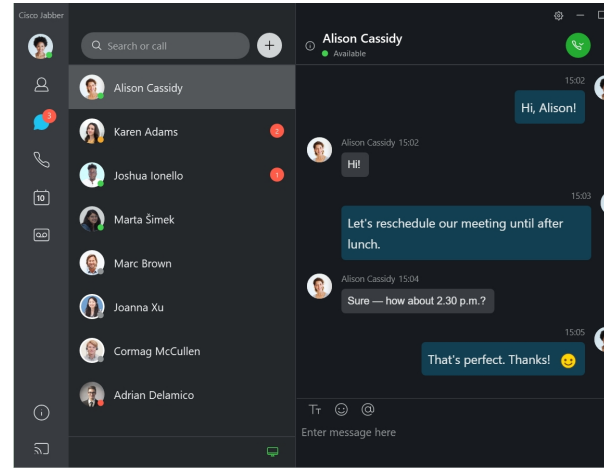
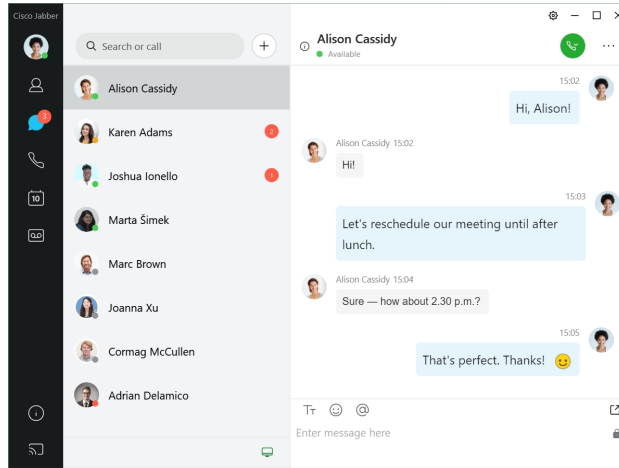


ステップ1 プロファイル画像をクリックし、[設定] > 外観 を選択します。

ステップ2 使用するテーマを選択して、[OK] をクリックします。

Mac でカラーテーマを変更する

次の画像は明るいと暗いテーマの例を示しています。



ステップ 1 プロファイル画像をクリックして [基本設定] > 外観 を選択します。

ステップ 2 次のオプションのいずれかをクリックします。

- カスタム—利用可能な色テーマを 1 つ指定します。
- システム設定に基づく—Jabber 設定の [システム基本設定] で設定されているカラーテーマを使用します。

ステップ 3 [OK] をクリックして変更を保存します。

Mac 版 Jabber のロケーション

どのロケーションから作業しているのかを表示するよう、Cisco Jabber を設定できます。ロケーションを追加すると Cisco Jabber が自動的に認識し、Jabber に戻ると常に最新のロケーションに更新されます。

Mac のロケーションを有効にする

クライアントでロケーションを有効化すると、現在地が連絡先のユーザにすぐに表示されます。クライアント内でロケーションが自身のステータスに追加されます。

ステップ 1 [] > [基本設定] > の順に選択します。

ステップ 2 ロケーション タブを選択します。

ステップ 3 [ロケーション機能を有効にする (Enable locations)] を選択します。

ステップ4 (任意) 新しい場所が検出されたら通知を受け取るを選択します。

クライアントが新しいロケーションを検出すると、アラートが送信されます。

Mac 用にロケーションを追加する

自分のロケーションを連絡先側から確認できるようにすることができます。

ステップ1 [] > [基本設定] > の順に選択します。

ステップ2 ロケーションタブを選択します。

ステップ3 +アイコンを選択します。

ステップ4 連絡先にあなたのロケーションを公開したい場合は、[このロケーションを共有する]を選択します。

ステップ5 名前 と 住所 フィールドにロケーションに関する情報を入力します。

ステップ6 [作成 (Create)] を選択します。

Mac でロケーションを編集する

すでに作成済みのロケーションを編集して、情報を追加することができます。

ステップ1 Jabber > 基本設定 を選択します。

ステップ2 ロケーションタブを選択します。

ステップ3 [自分の場所 (MyLocations)]ウィンドウで、リストからロケーションを選択してペンまたは編集アイコンを選択し、ロケーションの詳細を編集します。

ステップ4 ロケーション情報を更新し、[保存 (Save)]を選択します。

Mac でロケーションを削除する

自分が設定したロケーションを削除できます。

ステップ1 Jabber > 基本設定 を選択します。

ステップ2 ロケーションタブを選択します。

ステップ3 My ロケーション ウィンドウから、削除するロケーションを選択します。

ステップ4 -を選択してください。

Mac のロケーションの再割り当て

現在のネットワーク ロケーションを、すでに作成しているロケーションに再割り当てできません。

ステップ1 Jabber > 基本設定 を選択します。

ステップ2 [環境設定 (Preferences)]ウィンドウで [ロケーション (Locations)]タブを選択します。

ステップ3 [自分の場所 (MyLocations)]ウィンドウで、リストからロケーションを選択し、[再割り当て (Reassign)] ボタンを選択します。

Windows で状況要求を管理する

一部の Cisco Jabber の導入では、誰かが在席ステータスの表示を要求したときの通知を管理することができます。

ステップ1 次のオプションのいずれかを選択します。

- これ以降のバージョンの場合: Hub ウィンドウで [設定] メニューを開き、[オプション] に移動します。
- 以前のバージョン: [ファイル] > オプションを選択します

ステップ2 プライバシー タブを選択します。

ステップ3 次のオプションのいずれかを選択します。

| オプション | 説明 |
|-----------------------------|---|
| [社内の連絡先からのリクエストを自動的に受け付ける] | 社内の誰かがユーザを連絡先に追加するときに、Cisco Jabberによる通知は行われません。社外の人がユーザを連絡先に追加した際に、Cisco Jabberにより通知されます。 |
| [すべての連絡先からのリクエストを自動的に受け付ける] | 誰かがユーザを連絡先に追加するときに、Cisco Jabberによる通知は行われません。 |

| オプション | 説明 |
|----------------|---|
| [リクエストごとに通知する] | <p>誰かがユーザを連絡先として追加したときに、Cisco Jabberによって通知されます。Cisco Jabber で通知が表示された場合、次のオプションを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 許可: 相手があなたのアベイラビリティ状況を表示し、あなたにインスタントメッセージを送信できるようにします。 • ブロック: 相手があなたのアベイラビリティ状況を表示したり、あなたにインスタントメッセージを送信させたりしません。その人をブロックリストに追加します。 • 連絡先に追加: 相手があなたのアベイラビリティ状況を表示したり、あなたにインスタントメッセージを送信できるようにします。その人を連絡先リストに追加します。 |

ステップ4 [適用 (Apply)]を選択し、[OK]を選択します。

Mac でカスタムタブを削除する

特定のタブでアプリをカスタマイズした場合、不要になったら削除できます。

ステップ1 削除するタブを選択します。

ステップ2 **Jabber > ファイル > カスタムタブを削除...**を選択します。

ステップ3 [削除 (Remove)]を選択します。

コールオプション

Dial via Office (DvO) を使用する電話サービスアカウントをお持ちの場合、通話を行う際にモバイル端末で接続するネットワークの種類を設定できます。

iPhone および iPad で発信オプションを設定する

ステップ1 設定 画面の **発信** から **通話オプション**。

ステップ2 オプションを選択します。

| オプション | 説明 |
|-----------------------------|--|
| Voice over IP | 常にモバイル データ ネットワークまたは Wi-Fi ネットワーク経由で VoIP 通話を発信します。 |
| モバイル ボイス ネットワーク | 常にデバイスのモバイル ボイス ネットワーク経由で DVO 通話を発信します。 DVO を使用すると、社内通話システムがすべての通話を開始するためにコールバックします。 |
| [自動選択 (Autoselect)] | Cisco Jabber により、ネットワーク接続に基づいて VoIP またはモバイル ボイス ネットワークが選択されます。 DVO を使用すると、社内通話システムがすべての通話を開始するためにコールバックします。 |

ステップ 3 [モバイルボイスネットワーク (Mobile Voice Network)]または[自動選択 (Autoselect)]を選択した場合は、[DVO通話バック番号 (DVO Callback Number)]セクションに正しい通話バック番号 (通常は携帯電話番号) が入力されていることを確認します。

Android で発信オプションを設定する

ステップ 1 [設定画面、下 発信する、をタップします 発信オプション。

ステップ 2 オプションを選択します。

| オプション | 説明 |
|-----------------------------|--|
| Voice over IP | 常にモバイル データ ネットワークまたは Wi-Fi ネットワーク経由で VoIP 通話を発信します。 |
| モバイル ボイス ネットワーク | 常にデバイスのモバイル ボイス ネットワーク経由で DVO 通話を発信します。 DVO を使用すると、社内通話システムがすべての通話を開始するためにコールバックします。 |
| [自動選択 (Autoselect)] | Cisco Jabber により、ネットワーク接続に基づいて VoIP またはモバイル ボイス ネットワークが選択されます。 DVO を使用すると、社内通話システムがすべての通話を開始するためにコールバックします。 |

ステップ3 [モバイルボイスネットワーク (Mobile Voice Network)]または[自動選択 (Autoselect)]を選択した場合は、[DVO通話バック番号 (DVO Callback Number)]セクションに正しい通話バック番号 (通常は携帯電話番号) が入力されていることを確認します。

低帯域幅モード

Cisco Jabber for Android、iPhone、および iPad では、低帯域幅ネットワーク経由で Voice over IP (VoIP)通話を発信するときに、低帯域幅モードを使用して通話品質を向上させることができます。

iPhone および iPad に低帯域モードを設定する



(注) 同じ低帯域幅コーデックをサポートしないデバイスに発信し、システムがコーデックのミスマッチを処理するようにセットアップされていない場合、以下のいずれかの問題が発生する可能性があります。

- 音声がかえらない。
- 通話がすぐに切断される。

始める前に

低帯域幅モードを使用するには、管理者は異なるコーデックを使用するデバイス間の通話を処理するようにシステムをセットアップしています。

ステップ1 [設定 (Settings)]画面の [通話 (Call)]で、[音声とビデオ (Audio and Video)]をタップします。

ステップ2 [音声]の下で、[低帯域幅モード] /a24> または オフ に設定します。

Android に低帯域モードを設定する



(注) 同じ低帯域幅コーデックをサポートしないデバイスに発信し、システムがコーデックのミスマッチを処理するようにセットアップされていない場合、以下のいずれかの問題が発生する可能性があります。

- 音声がかえらない。
- 通話がすぐに切断される。

始める前に

低帯域幅モードを使用するには、次のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- 管理者が、異なるコーデックを使用するデバイス間の通話に対応するようにシステムを設定している
- 使用しているデバイスと通話相手のデバイスの両方が同じ低帯域幅コーデック（G.729a または G.729b）をサポートしている

ステップ1 [設定 (Settings)] 画面の [通話 (Call)] で、[音声とビデオ (Audio and Video)] をタップします。

ステップ2 低帯域幅モード 設定を オン または オフ を参照してください。

電話会議ブリッジ

テレプレゼンスでは、任意のモバイル、デスクトップ、会議室のシステムから会議に参加して、動画、音声、コンテンツを共有できます。プライベート TelePresence ブリッジは、Webex ミーティングクライアントを使用していないときに電話会議用にセットアップできます。プライベートテレプレゼンスブリッジを設定するためには、Collaboration Meeting Room オプションを無効にする必要があります。

Windows で電話会議のブリッジ情報をセットアップする

ブリッジ情報を使用して、電話会議を作成するときに招待するユーザに送信する通話の詳細を指定することができます。

ステップ1 次のオプションのいずれかを選択します。

- 新しいバージョン: Hub ウィンドウで、[設定] メニューを開き、[オプション] に移動します。
- 以前のバージョンを使用する場合は、[ファイル] > [オプション] の順に選択します。

ステップ2 [コール (Calls)] タブを選択します。

ステップ3 [自分の会議サービスを使う (Use my conference service)] オプションを選択します。

ステップ4 番号、またはブリッジを使用するための URL を入力します。

ステップ5 (任意) ブリッジをパスワードで保護するには、[ホスト暗証番号 (Host PIN)] および [ゲスト暗証番号 (Guest PIN)] を指定します。

ステップ6 [適用 (Apply)] を選択し、[OK] を選択します。

関連トピック

[SIP URI 通話](#)

Mac で電話会議のためのブリッジ情報をセットアップする

電話会議に使用する代替番号を指定できます。

ステップ 1 Jabber > [システム基本設定] を選択します。

ステップ 2 [コール (Calls)] タブを選択します。

ステップ 3 [全般 (General)] タブを選択します。

ステップ 4 [自分の会議サービスを使う (Use my conference service)] オプションを選択します。

ステップ 5 番号、またはブリッジの URI を入力します。

管理者がブリッジパターンを追加している場合、ユーザがこのフィールドを編集することはできません。

ステップ 6 (任意) 主催者 PIN を入力してください。

ステップ 7 (任意) Guest PIN と入力してください。

関連トピック

[SIP URI 通話](#)

モバイルでの電話会議のブリッジ情報をセットアップする

Cisco Webex ミーティング クライアントを使用していない場合は、電話会議にプライベート TelePresence ブリッジを使用できます。



(注) アカウントで Collaboration Meeting Room が有効な場合は、プライベート テレプレゼンス ブリッジ オプションを設定できません。

ステップ 1 [設定 (Settings)] 画面で [会議ブリッジ (Conference Bridge)] をタップします。

ステップ 2 [自分の会議サービスを使う (Use My Conference Service)] オプションを選択します。

ステップ 3 (任意) ブリッジの電話会議番号と PIN 番号を入力します。

ステップ 4 [適用 (Apply)] をタップします。

ビデオの基本設定

状況に応じてビデオを使用するかどうかを選択して、発信したり応答することができます。通話にビデオを使用するように設定した後に、ビデオを使用したくない日があれば、その日の通話ではビデオを使用しないように設定を変更できます。

ビデオの基本設定 (Windows 版) を行う

- ステップ1** [設定 メニューで、オプション>通話に移動し、基本設定を選択して **通話を常にビデオで開始する** または **ビデオで通話を開始しない**。
- ステップ2** [適用]、[OK]の順に選択します。
- ステップ3** (任意) リリース 12.0 以降: 前面カメラと背面カメラの両方を持つ Windows デバイスを使用する場合、ビデオ コールに前面カメラが使用されますが、その設定は **オプション>** で変更できます。ビデオを選択します。
-

Mac でビデオの基本設定を行う

[Jabber > 基本設定 > 通話] に移動し、[常にビデオで通話を開始する] を選択します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。